

# JAPAN PACKAGING CONTEST 2026 THE 48th

## 出展作品募集のご案内



## 2026日本パッケージングコンテスト

主催 **公益社団法人日本包装技術協会(第48回)**

後援  
(申請予定)

経済産業省、日本商工会議所、日本貿易振興機構(ジェトロ)、公益財団法人日本生産性本部、公益社団法人日本パッケージデザイン協会、公益社団法人日本マーケティング協会、公益社団法人日本グラフィックデザイン協会、公益財団法人共用品推進機構、世界包装機構、アジア包装連盟

### ジャパンスター賞(12賞)\*交付予定

本コンテストの最高賞であり、多角的見地から同コンテストの目的に合致した作品に与えられます。

- 経済産業大臣賞**  
保護性や機能性等、多くの包装に求められる要件を満たし、かつ経済性や環境にも配慮された、総合的に最も優れているもの。
- 脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞**  
容器包装・包装資材として優れている中で、容器包装廃棄物の排出抑制のための3Rの取組みがなされ、環境適合理化への努力が最も優れているもの。
- 経済産業省製造産業局長賞**  
容器包装・包装資材として優れている中で、空間容積の縮小、簡易包装化や減量化等、特に包装の適正化に貢献しているもの。
- 日本商工会議所会頭賞**  
国内外の経済的な発達を図り、わが国商工業の振興に寄与するもの。
- 日本貿易振興機構(ジェトロ) 理事長賞**  
輸出入の振興に寄与し、経済交流の促進を図っているもの。
- 公益財団法人日本生産性本部会長賞**  
生産性の向上に最も貢献しているもの。
- 公益社団法人日本パッケージデザイン協会賞**  
情報性、創造性、デザイン、色彩、包装形態による視覚効果が適切であり、デザイン上最も優れているもの。
- 公益社団法人日本マーケティング協会会長賞**  
特に販売促進に優れているもの。
- 公益社団法人日本グラフィックデザイン協会賞**  
グラフィックデザインにおいて、優れたデザイン表現、的確な文書表現、適切な情報構成がなされており、商品情報の伝達効果が特に期待できるもの。
- 公益財団法人共用品推進機構理事長賞**  
身体的な特性や障害にかかわらず、より多くの人々が共に操作・利用しやすく、安全にも配慮されたもの。
- 消費者団体推薦賞**  
環境や資源・エネルギーへの対応、使いやすさの追求等“暮らしにやさしい包装”への努力が、消費者にとって理解されやすいように工夫、配慮がなされているもの。
- 公益社団法人日本包装技術協会会長賞**  
保護機能の充実、包材の適切な使用等により、包装技術的に優れているもの。

### 包装技術賞(6賞)

保護機能の充実、包材の適切な使用等により、包装技術的に優れているもの。優れたノウハウを活かし、包装の機能を向上させたパッケージに包装技術賞が与えられます。

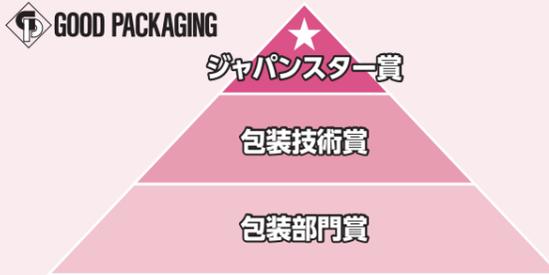
- テクニカル包装賞
- 適正包装賞
- パッケージデザイン賞
- 包装アイデア賞
- アクセシブルデザイン包装賞  
(触覚識別表示)
- ロジスティクス賞

### 包装部門賞(13賞)

包装合理化・改善等に著しく貢献したパッケージに各部門賞が与えられます。

- 食品包装部門賞(一般)
- 菓子包装部門賞(和菓子・洋菓子)
- 飲料包装部門賞
- 化粧品包装部門賞
- 医薬品・医療用具包装部門賞
- トイレタリー包装部門賞
- 日用品・雑貨包装部門賞
- 贈答品包装部門賞
- POP・店頭販売包装部門賞
- 輸送包装部門賞
- 電気・機器包装部門賞
- 工業包装部門賞
- 大型・重量物包装部門賞  
(その他応募状況により設置予定)

### グッドパッケージング賞の構成



### 6大特色

- 優秀の目印はGPマークで GOOD PACKAGING**  
本コンテストは、日本のパッケージ技術の最高水準を決定するものです。材料、設計、技術、適正包装、環境対応、デザイン、輸送包装、ロジスティクス、販売促進、アイデア等あらゆる機能からみて年間の優秀作品(グッドパッケージング賞)を選定するもので、最高賞のジャパンスター賞をはじめ入賞作品にはすべて優秀の証として、GPマークの使用が認められます。
- 最優秀作品に 経済産業大臣賞を授与(交付予定)**  
入賞作品のうち、最優秀作品には経済産業大臣賞(交付予定)が授与される他、脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞(交付予定)や経済産業省製造産業局長賞(交付予定)等が優秀作品に授与され、本年度の最優秀パッケージとして国内外に広く紹介されます。
- パッケージデザインからロジスティクスまで**  
本コンテストは、個装から外装まで、すなわち生活者包装、輸送包装等、包装の全てを網羅しています。「デザインからロジスティクスまで」これは本コンテストの最大の特色です。
- 環境問題・CO<sub>2</sub>削減に対応した適正包装の特に優れた実例を!**  
環境問題、生活者のための包装を意図し、機能を満たし、かつ包装の容積、重量、コストを軽減すると共に省資源化、省力化の要請に応じた商品別適正包装の実例で特に優れたもの、改善努力の著しいもの、また、これらの条件に加えて、輸送の分野においては、物流の近代化に寄与するためのシステム志向も重視されます。
- 入賞作品を一般公開**  
入賞作品は、10月に開催致します展示会、TOKYO PACK 2026の“2026グッドパッケージング展”への出品資格が与えられ、一般公開されます。また、海外展示会の特設コーナーでの展示も可能となります。
- 世界の檯舞台へ“ワールドスターコンテスト”**  
日本パッケージングコンテストに入賞した作品は、ワールドスターコンテスト(毎年開催、主催:世界包装機構)アジアスター(毎年開催、主催:アジア包装連盟)への出品資格が与えられ、ワールドスターを目指して世界各国からの作品と競い合います。

### 審査委員(予定)

- 委員長**  
小野 拓邦 東京大学 名誉教授
- 委員**  
三牧純一郎 経済産業省イノベーション・環境局 GXグループ 資源循環経済課 課長  
土屋 博史 経済産業省 製造産業局 素材産業課長  
木内 洋一 日本商工会議所 事業部長  
瀧 統 独立行政法人日本貿易振興機構 海外展開支援部 部長  
平野 祐子 主婦連合会 副会長 社会部部长  
善財 裕美 台東リサイクルネットワーク 代表幹事  
角田 信之 公益財団法人日本生産性本部 参与  
信藤 洋二 公益社団法人日本パッケージデザイン協会 理事長  
河野 安彦 公益社団法人日本マーケティング協会 事務局長  
左合ひとみ 公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 副会長  
中尾 俊章 あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター センター長  
三浦 健一 地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 理事 和泉センター長  
高岡眞佐子 エイジング社会研究所 代表  
富山幹太郎 公益財団法人共用品推進機構 理事長  
椎名 武夫 国立大学法人千葉大学 大学院園芸学研究院 グランドフェロー  
北澤 裕明 学校法人日本女子大学 食科学部食科学科 食品学・食品包装学研究室 准教授  
園山 洋一 公益社団法人日本包装技術協会 専務理事

### 申込み先

JPIホームページより「2026パッケージングコンテスト」出品入力フォームにて、必要事項をご入力の上、写真データもしくは説明資料(A4縦1枚)を添付の上、お申込み下さい。

※必要事項の記入、写真データ・説明資料の添付がすべて行われないと申込みできません。

※メール、郵送でのお申し込みは受付いたしかねます。

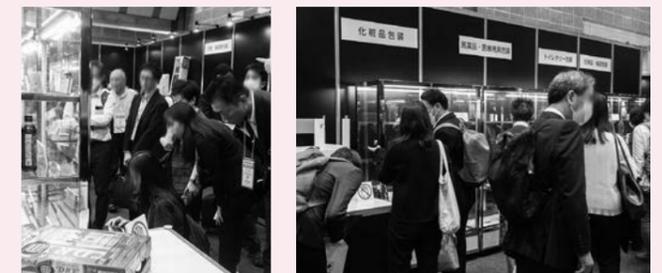
ホームページアドレス(URL) : <https://www.jpi.or.jp>

\*出品にあたっては関係会社にご確認の上お申込み下さい。  
応募対象についての、意匠権等の知的財産権、品質、性能、安全性他その販売、施工に関して生じた問題の責任については応募者が負うものとし、主催者は一切責任を負いません。

【個人情報の取り扱いについて】 1. 個人情報は「2026日本パッケージングコンテスト」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。  
2. 出品申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示、提供することはありません。

### お問い合わせ先

公益社団法人日本包装技術協会 | 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F  
日本パッケージングコンテスト係 担当:佐藤・坂本 | TEL.03(3543)1189 FAX.03(3543)8970 e-mail: kouza@jpi.or.jp



# 2026日本パッケージングコンテスト出品作品募集のご案内

包装は、時代の変化とともに研究開発され、社会生活に重要な役割を担っています。日本パッケージングコンテストは、わが国の優れたパッケージングとその技術を開発普及することを目的として実施しております。毎回、包装技術・デザイン等の面で新しいアイデアと質の高い作品のノミネートがあり、入賞作品には更に、国際コンテストへの出品資格が与えられます。この機会に、国内はもとより世界に向け日本の包装技術を紹介、PRすべく、多数の作品をご出品くださいますようご案内申し上げます。

## 開催要領

名称	2026日本パッケージングコンテスト(第48回)
目的	時代と社会の要請に対応した、生活文化に優れたパッケージ及びその技術の開発普及に資することを目的とする。
主催	公益社団法人日本包装技術協会(JPI:Japan Packaging Institute)
後援(申請予定)	経済産業省、日本商工会議所、日本貿易振興機構(ジェトロ)、公益財団法人日本生産性本部、公益社団法人日本パッケージデザイン協会、公益社団法人日本マーケティング協会、公益社団法人日本グラフィックデザイン協会、公益財団法人共用品推進機構、世界包装機構、アジア包装連盟
表彰	当会役員及び関係者出席の上、本年9月に東京都内会場にて表彰式を行う予定です。
展示	入賞作品は『TOKYO PACK 2026』特設コーナーで無料で一般公開いたします。
フォーラム	ジャパンスター賞入賞作品(2~3点)の受賞記念フォーラムを開催します。

## 出品要領

出品条件	令和6年7月1日以降商品化されたもの、または今後発売が決定しているもの。(試作品は含みません。)作品が大型・重量物の場合(総重量30kgを超えるもの)は、ミニチュアや作品説明パネル(A4サイズ縦型)1~2枚による出品をお願いします。	
出品申込締切	2026年5月1日(金)	
審査日	2026年6月5日(金)	
出品料(消費税10%含)		
会員区分	会員申込	一般申込
料金	22,000円	33,000円

- ### 審査方法
- 作品を一堂に陳列し、申込書記載内容を参照し、実際に手に取って審査します。
- ### 申込み方法
- JPIホームページ内の「日本パッケージングコンテスト」ページにある「2026日本パッケージングコンテスト出品申込」をクリックし、出品入力フォームに必要事項を入力してください。  
ホームページアドレス(URL):<https://www.jpi.or.jp>  
必要事項の入力と併せ、作品の様子が分かる写真もしくは説明資料(A4縦1枚にまとめたもの)を添付してお申込み下さい。
  - 入力フォーム内、作品の説明については、特に評価をしてもらいたいポイントを簡潔にまとめてください。  
出品会社は連絡先となる代表の会社1社とし、担当者名には連絡窓口となる方のお名前をご記入ください。事務局からの連絡、請求書をご記入いただいた担当者宛にお送りいたします。変更は受付致しかねますので、ご了承ください。  
共同出品会社は、入力フォームに上記出品会社も含めすべてを記入ください。
  - 出品申込をシステムで受付後、出品料の請求書を専用ページにてダウンロード下さい。
  - 入力フォームをすべて記入いただかないと出品の受付ができません。ご了承ください。

審査の流れ (詳細は、申込み受付後改めてお知らせ致します)

**出品申込み** 必要書類：ホームページの入力フォームにて必要事項の記入、写真もしくは説明資料(A4縦1枚)を添付してください。  
※この時点では作品をお送り頂く必要はございません。

**出品料振込** 出品申込書受付後、事務局から請求書を送付します。請求書記載振込先にお振込み下さい。

**作品搬入** 指定日に作品を宅配便にてお送り下さい。日時は追って指示します。(審査日約2週間前予定)

**審査当日** 会場にお越し頂く必要はございません。

**審査結果の報告** 結果通知はメールもしくは郵送にてお送りします。

### 注意事項

- 申込み時点では、作品をお送りいただく必要はございません。
- 作品は、審査日(6月5日(金))の2週間程度前にお送りいただく予定です。
- 申込者には、追って作品搬入の日時・場所等の詳細をお知らせします。
- ご出品頂いた作品は返品致しません。
- ご提出頂いた出品申込書と写真データ(説明資料)は審査資料として審査委員にお渡しします。  
写真データ(説明資料)はA4縦1枚に収まるよう簡潔にまとめて下さい。出品申込書にまとめきれない分は、別紙資料として作品と一緒に展示させていただきますので作品搬入時に同梱して下さい。

## 審査基準(目安)

### ①適正包装

- ・合理的かつ最も公正な包装である。

### ②環境適合性

- ・包材の軽量化が図られている。
- ・包装のコンパクト化が図られている。
- ・組合せ包材の使用後の分別が容易である。
- ・使用後の包材の減容化が容易である。
- ・環境に負の影響を及ぼすような包材を使用していない。(リサイクル性)

### ③保護・安全性

- ・包装が内容品の破損、劣化、変質、変敗に対して適切である。

### ④経済性

- ・内容品に対する余剰空間容積が適切である。
- ・包装費が販売価格に対して適切である。
- ・安易に二次的使用が強調されていない。

### ⑤情報性

- ・内容品の安全、衛生に関する表示が適切である。
- ・内容品の品質保持に関する説明が適切である。
- ・容器の開封、取り扱い、保管等使用方法の説明が適切である。

### ⑥安全性

- ・包装の形態、材料が物理的に身体、健康に危害を及ぼさない。

### ⑦機能性

- ・内容量が適当で、消費者が購入するのに便利である。
- ・内容物が消費者又は持ち運びするのに容易で、かつ便利である。

### ⑧創造性

- ・包装の時代的要求に対して適切な新包材で対応している。
- ・包装の時代的要求に対して適切な新形態、新機能で対応している。
- ・技術に独自性があり、今後の進展が期待できる。

### ⑨製造流通適性

- ・内容品の包装工程の省エネ、ロス低減等効率化に適正に対応している。
- ・内容品の流通の省エネ等効率化に対応している。

### ⑩アクセシブルデザイン性

- ・高齢者・障がい者に配慮した包装設計になっている。

### ⑪視覚効果

- ・販促効果(セールスアピール)が適切である。
- ・内容品の品質、及び大きさを適切に表現するデザインになっている。